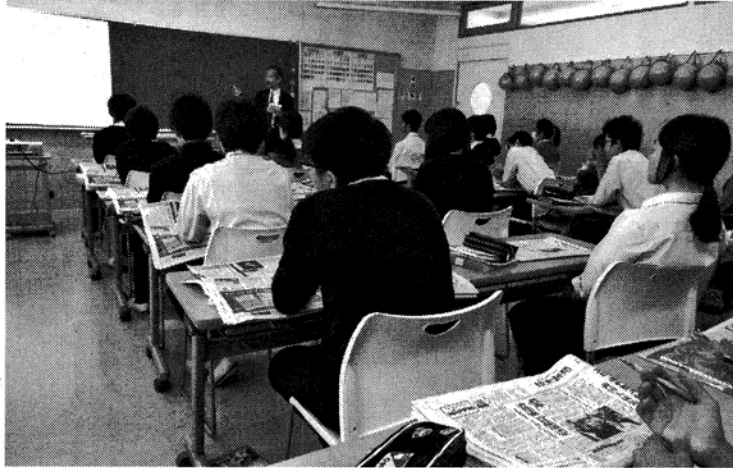


# 新聞で判断力養おう

## 読売記者が市川の高校で講義

千葉県市川市の日出学報「および」デジタルコ  
園高等学校では5月11、ンテンツ演習」の授業の  
15日の同日、2年生の情 講師として、それぞれ読  
報科教育の「社会と情 売新聞東京本社教育ネッ



高野記者の授業を受ける生徒

報を見抜く力および発信の必要性など、ネットとの正しい付き合い方を身に付け、メディアリテラシー(情報活用能力)を高めていくことが重要だ」と強調した。

授業を受けた黒田愛弓さん(16)は「口コミ情報などネットにはウソの情報があることは知っていたが、それほど深く考えたことはなかった。自分自身SNS(ソーシャルネットワークサービ

ル)で相手に誤解されるような発信をしたことがあった。これからは注意していきたい」と話した。

同学園では今後、今回の授業を生かし、生徒自らテーマを設定して、アンケート調査や種々の統計資料を元にまとめあげる「統計グラフポスター」の作成や、自分たち

の授業で高野記者が、生徒に1部ずつ配布した読売新聞の朝刊を教材にして、新聞を気軽に読むコツや情報の信頼性など、新聞の特徴を紹介。

その上で、二次情報、やらせ、フェイク(偽)ニュースなどのネット情報の例を挙げ、正しい情報収集、分析の仕方的重要性を強調。一方で、ツイッターが災害援助に役立つ例なども挙げ、トライ&エラーで正しい情報を見語った。

さらに黒田さんは自宅

で新聞をとっていないが「母親に相談して新聞をとってみたい」などと新聞への関心を示した。

15日は「デジタルコンテンツ演習」の授業で小屋敷記者から、取材、編集、校閲など新聞制作のプロセスを学んだ。特に記事の見出しづくりに関する点を置き、新聞から切り抜いた見出しを組み合わせて手作りの新聞を作成

また、新聞協会が主催する「いっしょに読もう!新聞コンクール」や全国高校新聞コンクール(大東文化大学主催)への参加も予定している。